

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	スポーツひろばプレイス府中教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 15日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2024年 11月 15日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動に特化した独自の療育をしている	<ul style="list-style-type: none"> コースにわけて段階別での対応を行っている 運動の内容では動作を細分化しスモールステップでプログラムの組み立てを行っている 学校体育の内容を取り入れ、就学がスムーズに進めるように取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、様々な道具を取り入れ、利用者に合わせて内容を提供していく 指導を研究し、研究した指導を実践していく
2	視覚覚トレーニングを行っている	<ul style="list-style-type: none"> 眼の機能を向上させるため、様々な教材を使ったトレーニングを用意している 個々に合わせて利用者ごとに必要なトレーニング内容を考えています 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の改良を加えていく 新しい内容のものを研究し提供できるようにする
3	モンテッソーリー教育理に基づいた知育教材、玩具をそろえている	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の休み時間、トレーニングの時間ともに使用することが出来るようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みの方法を考え新しい形で提供できるようにする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援や、保護者同士の交流の機会がない	<ul style="list-style-type: none"> 建物の立地条件上、地域住民の方との交流は難しい 保護者様同士の交流によるデメリットを考えている(比較や競争が生まれたり、意見の不一致から関係が悪化したりする可能性があるため) 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様からの強いご要望が集まることがあれば、検討していく
2	家族に対して家族支援プログラムや、家族も参加できる研修会や情報提供の機会がない	<ul style="list-style-type: none"> 場所や日程等の確保が難しい 保護者からの要望がすくない 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様からの強いご要望が集まることがあれば、検討していく
3			